

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2004-49478 (P2004-49478A)
【公開日】平成 16 年 2 月 19 日 (2004.2.19)
【年通号数】公開・登録公報 2004-007
【出願番号】特願 2002-209772 (P2002-209772)
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 B 5/055

G 0 1 R 33/48

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 1 1

G 0 1 N 24/08 5 1 0 Y

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 7 月 1 日 (2005.7.1)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

検査対象に静磁場を与える静磁場発生手段と、前記検査対象に傾斜磁場を印加する傾斜磁場発生手段と、前記検査対象を構成する原子の原子核に磁気共鳴を起こさせる高周波パルスを発生する高周波パルス発生手段と、前記検査対象が発生する核磁気共鳴信号を k 空間データとして検出する検出手段と、時系列的に計測された k 空間データを用いて前記検査対象の温度変化分布を演算する演算手段と、前記各手段の制御を行う制御手段と、前記検査対象の周期動を計測する手段を備え、前記制御手段は、前記周期動に応じて前記傾斜磁場発生手段を制御し、前記 k 空間の少なくとも低周波領域データを、前記周期動における同じ変位範囲で計測した核磁気共鳴信号で充填することを特徴とする磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 2】

前記制御手段は、前記周期動の少なくとも 2 つの異なる変位範囲に対応して 2 以上の k 空間データを収集することを特徴とする請求項 1 記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記 2 以上の k 空間データの各高周波領域データを、前記周期動の同一の変位範囲で計測した核磁気共鳴信号を共用して充填することを特徴とする請求項 2 に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 4】

前記検査対象の周期動を計測する手段は、核磁気共鳴信号を用いて前記検査対象の周期動を算出することを特徴とする請求項 1 ないし 3 いずれか 1 項記載の磁気共鳴イメージング装置。